

正社員転換・待遇改善実現プラン進捗状況（平成30年度分）

(1)働き方改革会議における提言の啓発・周知について

①求人内容や非正規雇用労働者の待遇改善

番号	項目	目標（H31.3.31に見直し）	平成30年度実績
1	企業への啓発・周知	訪問件数900件／年	667件 (達成率222.3%) ※1

※1 平成30年度目標 訪問件数300件

(2)正社員転換等について

①不本意非正規雇用労働者の正社員転換等

番号	項目	目標（H31.3.31に見直し）	平成30年度実績
1	ハローワークによる正社員就職・正社員転換数	3.5万人 (平成28-32年度累計) 年間目標7,000人	6,694人 (達成率95.6%)
2	ハローワークにおける正社員求人数	14.4万人 (平成28-32年度累計) 年間目標30,400人	29,399人 (達成率117.6%) ※2

※2 平成30年度目標 25,000人

②対象者別の正社員転換等  
ア)若者等に係る取組

番号	項目	目標（H31.3.31に見直し）	平成30年度実績
1	フリーター就職件数	フリーター就職件数：1.2万人 (平成28-32年度累計) 年間目標2,200人	2,369人 (達成率79.0%) ※3
2	学卒者向け公共職業訓練の正社員就職率	学卒者向け公共職業訓練の正社員就職率：90%	95.2% (+5.2ポイント)
3	ジョブ・カードを活用した有期実習型訓練の正社員就職率	ジョブ・カードを活用した有期実習型訓練の正社員就職率：80%	53.3% (-26.7ポイント)

※3 平成30年度目標 3,000人

②対象者別の正社員転換等  
イ)派遣労働者に係る取組

番号	項目	目標（H31.3.31に見直し）	平成30年度実績
1	労働者派遣法周知セミナーの開催	13回 (平成28-32年度累計) 年間目標2回	2回実施 (達成率100%)

②対象者別の正社員転換等  
ウ)有期契約労働者に係る取組

番号	項目	目標（H31.3.31に見直し）	平成30年度実績
1	キャリアアップ助成金を活用して有期契約から正規雇用等に転換した労働者の数	3000人 (平成28-32年度累計) 年間目標730人	747人 (達成率1067.1%)

(3)待遇改善について

番号	項目	目標	平成30年度実績
1	雇用保険被保険者に対する育児休業取得率の向上	取得率0.65%	0.596% (+0.09ポイント)

正社員転換・待遇改善実現プラン進捗状況（平成30年度分）

(1)働き方改革会議における提言の啓発・周知について			
①求人内容や非正規雇用労働者の待遇改善			
番号	取組	取組内容	現時点までの実績
1	企業への啓発・周知	地域や企業の将来を担う人材を一人でも多く確保・定着させるために、「和歌山働き方改革宣言」を基軸として、求人内容（応募要件、雇用上の地位、労働条件など）の見直し、非正規労働者のさらなる活躍や能力発揮のため、正社員転換などの機会の付与、ふさわしい処遇等のあり方について、改めて検討いただき、県内企業の取組を支援すべく、労使をはじめ関係機関の協力を得つつ、新たな法制度、各種支援方策、助成金制度についてのきめ細やかな周知・広報を行う。	○平成30年12月に第1回和歌山働き方改革推進協議会を開催。令和元年6月に第2回和歌山働き方改革推進協議会を開催し、「和歌山働き方推進宣言」を採択。併せて、同宣言を具体的に進めていくための「中小企業・小規模事業者支援部会」を設置した。 本年9月25日に第1回目の支援部会を開催。和歌山働き方改革推進支援センターが実施したセミナーのアンケート結果を踏まえ、働き方改革の認知状況や課題について支援部会員間での情報共有、認識の共有を図った。また、「しわ寄せ」防止対策の周知や商工会やハローワークでの出張相談会の周知広報等についての協力を依頼した。 ○県内各市町村に対し、「働き方改革」に係る周知啓発を図る等の取り組みについての協力依頼を行った。（令和元年9月末までに30市町村を訪問した。） ○正社員求人確保や求人条件の見直し助言等のため公共職業安定所長による事業所訪問を平成30年度は667件実施。令和元年度は9月末時点で568件実施。

(2)正社員転換等について			
①不本意非正規雇用労働者の正社員転換等			
番号	取組	取組内容	現時点までの実績
1	・ハローワークにおける正社員就職の実現 ・キャリアアップ助成金の活用促進	キャリアアップ助成金により派遣労働者等の正社員転換、「多様な正社員」の導入、非正規雇用労働者の人材育成の促進等を行うためハローワークにおいて、活用が進むよう、制度の周知等を積極的に行う。 ハローワークにおいて、正社員求人積極的に確保するほか、正社員就職に向けた担当者制による支援やマッチング強化に取り組む。また、キャリアコンサルティングや就職支援セミナーを実施するなど利用者それぞれの状況に対応したきめ細かな就職支援を行う。	平成30年度に就職支援セミナーを160回開催し1771人が受講した。セミナー受講者の内、離職期間3か月未満の求職者が57.8%を占めた。また、アンケートの結果、「参考になった」、「大変参考になった」と答えた求職者は97.6%であった。 令和元年度は9月末までに77回開催し、924人が受講した。セミナー受講者の内、離職期間3か月未満の求職者が59.0%を占めた。また、「参考になった」、「大変参考になった」とアンケートに答えた求職者は98.8%であった。
2	業界団体等への要請	非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善の取組について経済団体に要請するとともに、公共職業安定所長等の幹部職員は、事業所訪問により、正社員求人による人材確保のメリットを説明し、取組を働きかける。	正社員求人確保や求人条件の見直し助言等のため公共職業安定所長による事業所訪問を平成30年度は667件実施。令和元年度は9月末時点で568件実施。（再掲）

②対象者別の正社員転換等 ア)若者等に係る取組			
番号	取組	取組内容	現時点までの実績
1	フリーター等に対する支援	いわゆるフリーター等（35歳以上45歳未満の不安定就労者も含む。）の正社員転換を促進するため、引き続き、わかものハローワーク等において担当者制によるきめ細やかな職業相談・職業紹介、フリーター等の職業意識の啓発を行うとともに、わかものハローワーク等の利用の周知強化、夜間や土日でも相談を行うことができるように電話・メールによる相談事業、職業訓練への誘導・あっせんの強化等を行う。また、トライアル雇用奨励金の活用によるフリーター等の正社員就職を実現する【平成28-32年度にかけて継続的に実施（電話・メール相談事業は平成28年度から実施）】。	ハローワークのわかもの支援コーナーやわかもの支援窓口を中心に担当者制による就職支援を行うとともに、トライアル雇用奨励金の活用により平成30年度は2,369人の就職が実現した。令和元年度については8月末現在857人の実績となっている。
2	新卒者等の正社員就職の実現	新卒応援ハローワーク等において、学校等と協力して、在学段階からの就職に向けたセミナー、職場見学・体験等を通じ、就職への意欲喚起・維持を含めた新規学卒者等の正社員就職に向けた支援（未内定者への集中的な支援も含む。）を行う。	○63人が訓練を修了（ただし、1名は進学希望）し、59人が正社員就職した（平成30年度実績）。
3	若者の職業能力開発の推進	若者の職業能力開発を支援するため、高卒者等を対象として、職業に必要な高度で専門的かつ応用的な技能・知識を習得させるための長期間の訓練課程の訓練等を実施するとともに、ジョブ・カードを活用した雇用型訓練（雇用した従業員を対象とした、企業内での実習（OJT）と教育訓練機関等での座学等（Off-JT）を組み合わせた実践的訓練）を行う。	平成30年度 有期実習型訓練を65人に実施し、47人が正社員就職した。 令和元年度9月末時点 有期実習型訓練を17人に実施し、10人が正社員就職した。

②対象者別の正社員転換等 イ)派遣労働者に係る取組			
番号	取組	取組内容	現時点までの実績
1	改正労働者派遣法の円滑な施行	派遣元に対して、計画的な教育訓練や希望者へのキャリアコンサルティングを義務付けるとともに、派遣先への直接雇用の依頼等の雇用安定措置を講ずることを派遣元の責務とすることや、正社員の募集情報提供義務を派遣先に課すことなどを内容とする平成27年度改正労働者派遣法の円滑な施行に取り組む。 また、労働者派遣事業の許可の取消しも含めた厳正な指導により3年見込みの派遣労働者に係る義務の履行を確保するだけでなく、1年以上の雇用契約を結んだ派遣労働者に係る努力義務についても周知徹底し、適正な運用を促す。	平成30年度 改正労働者派遣法セミナーを2回開催（和歌山会場：48社、63名、田辺会場：14社、16名） 令和元年度 和2年4月1日施行となる派遣労働者に関する均等待遇のための同一労働同一賃金セミナーを2回開催（和歌山会場：63社、田辺会場：16社） 事業所指導 平成30年度 派遣元50社、派遣先14社 令和元年度9月末現在 派遣元47社、派遣先5社

②対象者別の正社員転換等 ウ)有期契約労働者に係る取組			
番号	取組	取組内容	現時点までの実績
1	キャリアアップ助成金の活用促進	キャリアアップ助成金により有期契約労働者の正規雇用等への転換について活用促進を図るためハローワークの窓口等による広報・周知を行う。	○ハローワークの窓口において、求人受理時に有期契約労働者を募集する事業所にキャリアアップ助成金について周知を行っている。

(3)待遇改善について			
番号	取組	取組内容	現時点までの実績
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業・介護休業の取得促進</li> <li>・妊娠・出産・育児休業等を理由とする不利益取扱い等やセクシュアルハラスメント対策の実施</li> <li>・学生・生徒等に対する労働法制の周知</li> </ul>	<p>非正規雇用労働者が育児・介護休業を取得し、継続就業しやすくするため期間雇用労働者の育児・介護休業取得要件について、周知するとともに中小企業における労働者の円滑な育児・介護休業の取得及び職場復帰などを図るため、中小企業両立支援助成金の利用促進を図る。</p> <p>男女雇用機会均等法、育児・介護休業法の改正法案が成立した場合には、改正法案に定める妊娠・出産・育児休業等を理由とする上司・同僚からの就業環境を害する行為を防止する措置を事業主に義務付けるための制度について、周知を図る。</p> <p>また、職場における不快な性的言動等（セクシュアルハラスメント）や妊娠・出産・育児休業等を理由とする不利益取扱い（いわゆるマタニティハラスメント）について、迅速・厳正な行政指導を行うとともに、着実な男女雇用機会均等法等の施行と未然防止の徹底を図る。</p> <p>労働者の関係法令の不知による問題事案の発生を未然に防止するため、学生・生徒等に対する労働法制の基礎知識の付与に係る取組を進める。</p>	<p>○平成30年度は、育児・介護休業法における報告徴収を112社に実施し、育児・介護休業規定の整備、ハラスメント防止対策について、109社に、557件の助言等を行った。令和元年度は9月末時点において、96社に実施し、90社に481件の助言を行った。</p> <p>○平成30年度は、男女雇用機会均等法における報告徴収を115社に実施し、ハラスメント防止措置等について、93社に、193件の助言を行った。令和元年度は9月末時点において、85社に実施し、66社に146件の助言を行った。</p> <p>また、職場におけるハラスメント等をテーマとして、平成30年12月4日に雇用環境セミナーを開催し周知を図った（81社、91名参加）</p> <p>○他に、ハラスメント関係では、平成30年7月2日～平成30年12月28日までハラスメント特別相談窓口を設置し、各自治体の広報誌へ相談窓口開設記事の掲載を依頼した。</p> <p>○和歌山大学において「労働行政実務」と題した寄附講義を実施。本年度についても引き続き実施する。</p>